**聖徳太子絵伝模写完成記念特別展「まねる うつす つたえる」展示業務仕様書**

**１　業務名**聖徳太子絵伝模写完成記念特別展「まねる うつす つたえる」展示業務

**２　会　期**平成２８年９月２４日（土）から平成２８年１１月６日（日）

**３　会　場**安城市歴史博物館　企画展示室

**４　業務内容**

**（１）会場造作物**

**①入口造作物（別紙１参照）**

別紙１のとおりの造作物を作成する。外面は紙貼りとする。上部は遮光できる素材（布や木材等）で覆うこと。転倒防止等安全に配慮した上で製作を行うこと。取り付けの道具含む。撤去は平成２９年３月２１日から３月３１日の間に行うこと。

**②固定ケース内仕切壁（別紙２－ア参照）**

固定展示ケース内に設置。仕切壁の大きさは、幅５１０㎝、高さ２８０cm程度。

厚さ5㎝程度。転倒防止等安全に配慮した上で製作を行うこと。外面は展示ケース内の壁面と違和感のない紙張り（ヤナカ鳥の子紙等）とする。取り付けの道具含む。

**③固定ケース内仕切壁（別紙２－イ参照）**

固定展示ケース内に設置。仕切壁の大きさは、幅１５０㎝、高さ２８０cm程度。

厚さ5㎝程度。転倒防止等安全に配慮した上で製作を行うこと。外面は展示ケース

内の壁面と違和感のない紙張り（ヤナカ鳥の子紙等）とする。取り付けの道具含む。

**④固定ケース内仕切壁（別紙２－ウ参照）**

移動展示ケース内に設置。仕切壁の大きさは、幅２７０㎝、高さ１７０cm程度。

厚さ5㎝程度。転倒防止等安全に配慮した上で製作を行うこと。外面は展示ケース内の壁面と違和感のない紙張り（ヤナカ鳥の子紙等）とする。取り付けの道具含む。

**⑤仮設ケースの作製（別紙２-エ参照）**

詳細は別紙図面参照。幅１０３㎝、高さ２００㎝、奥行２５㎝程度。９台。角

材・合板製で表面はヤナカ鳥の子（色後日指定）貼りとすること。壁面は釘等打ち込め、作品（掛軸）が掛けられる構造・強度にすること。アクリルは0.5㎝厚以上のものを使用する。アクリル面は作品展示のため、取り外しが可能な構造とすること。壁面取り付けも受託者が行い転倒防止等安全に配慮した上で製作を行うこと。取り付けの道具含む。

**（２）パネル作成**

**①パネルA（60×90cm）　１３枚**

A-1パネル　５枚

・章解説・ごあいさつ・謝辞パネル。多色・インクジェットで出力したものをウッドラックパネル（7ｍｍ程度）に貼り付け。

・wordデータ等で支給する原稿に手を加え、タイトルや背景等をデザインするこ　と。なお支給したデータに誤字脱字等があった場合、修正すること。

A-2パネル　４枚

・写真パネル。多色・インクジェットで出力したものをウッドラックパネル（7ｍ

ｍ程度）に貼り付け。jpgデータで支給する。

A-3パネル　1４枚

・文字・写真パネル。多色・インクジェットで出力したものをウッドラックパネル（7ｍｍ程度）に貼り付け。Word・jpgデータ等で支給する。

**②パネルB（80×20cm）　９枚**

・章タイトルパネル。多色・インクジェットで出力したものをウッドラックパネル（7ｍｍ程度）に貼り付け。

・wordデータ等で支給する原稿に手を加え、タイトルや背景等をデザインするこ　と。なお支給したデータに誤字脱字等があった場合、修正すること。

**③パネルC（40×200ｃｍ）　１枚**

・写真パネル。多色・インクジェットで出力したものをウッドラックパネル（7ｍｍ程度）に貼り付け。jpegデータで支給。

**④パネルD（150×100cm）　2枚**

・写真パネル。多色・インクジェットで出力したものをウッドラックパネル（7ｍｍ程度）に貼り付け。jpegデータで支給。

**（３）会場を記録したアルバムの提出**

展覧会に関わる屋外看板・入り口看板・展示室内の様子をデジタルカメラで撮影したものを、Ａ４に割り付けてＰＤＦデータとし、紙に両面出力しアルバムにしたものも提出すること。またデータを焼いたＣＤ-Ｒも提出すること。

**５　現場工費**

①現場設営費　１式

造作物・パネル等を設置する。設置場所は博物館の指示に従う。設置日は展覧会開催日以前の２日程度とし、相談の上決定する。

②現場撤去費　１式

 　展覧会終了後、平成２８年１１月９日から１５日の間に日程調整の上、展示室内部の造作物・パネル等を撤去する。ただし、入口造作物については平成２９年３月２１日から３月３１日の間に行うこと。

③運搬費　１式

 造作物・パネル等および必要器材の搬入・搬出業務。

④企画デザイン費　１式

造作物・パネル等のデザインについては、専門技量を有するものが考案すること。

⑤諸経費　１式

現場設営・撤去に関して博物館担当者との打ち合わせ。

**６　その他**

・本仕様書を遵守すること。

・本仕様書に記載のない事項および本仕様書に付いての疑義は、その都度別途担当者

と協議すること。

・デザインについては、博物館担当者が指示し、細部については印刷を行った上で２案以上の候補を作成し、博物館と協議の上決定すること。

・造作物・パネル等の校正は３回以上行うものとする。

・造作物・パネル等の編集データ（版をおこすことが可能なデータ）は電子媒体で保

存し、AIデータ、PDFデータの両方をCD-Rなどで博物館に提出すること。

・入札時は総額（消費税相当額抜き）を記入すること。

連絡先　〒４４６－００２６　愛知県安城市安城町城堀３０番地

安城市歴史博物館　学芸係　野上真由美

TEL０５６６－７７－６６５５、FAX０５６６－７７－６６００